

地域密着型金融の取組状況について

1. 地域密着型金融の取組方針

当金庫においては、「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム（平成 15 年度～16 年度）」および「地域密着型金融の機能強化に関するアクションプログラム（平成 17 年度～18 年度）」の 2 次にわたるアクションプログラムのもと、地域密着型金融の推進に取組み、推進計画に沿って確実に取組み、着実に推進できたものと考えています。

また、地域経済活性化に役立ち、地域の期待に応えていくため、地域密着による「経営基盤の拡大と拡充」、堅実健全経営の維持による「経営体質の強化」、環境変化に対応していくための「人材の育成と職場の活性化」を基本目標として、中長期経営計画「とよしんルネッサンス 2006（3 カ年計画）」を策定し、平成 18 年度よりこれに基づく活動を展開しています。この中長期経営計画やこれに基づく単年度事業計画を取組んでいくことが、地域密着型金融の機能強化に繋がるものと考え、今後ともこれらの計画を確実に実行し、地域密着型金融に恒久的に取組んでまいります。

平成 19 年度においては、以下の 3 項目を中心に取組むことで地域密着型金融を推進してまいります。

- I. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化
- II. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
- III. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

2. 平成19年度の地域密着型金融の具体的な取組策

I. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(1) 創業・新事業支援

- ・豊橋技術科学大学や(株)サイエンスクリエイト等との連携を一層強化し、新事業創出を目指す企業を支援します。
- ・中小企業診断士の増員や豊橋創造大学大学院修士課程経営情報学研究科へ職員を派遣し、「目利き力」を持った人材の育成を図ってまいります。(目標：中小企業大学校および豊橋創造大学大学院修士課程経営情報学研究科へ職員派遣＝各1名)
- ・ビジネスフェアへの出展企業、視察者の増加を図ってまいります。

(2) 経営改善支援

- ・経営改善支援先に対し、新たに「改善支援ステップ表」を用いるなど、より効果的な経営改善支援を実施してまいります。
(目標：経営改善支援先＝150先・ランクアップ数＝20先)
- ・中小企業再生支援協議会等の外部機関との連携をより一層強化してまいります。

(3) 事業再生支援

- ・中小企業再生支援協議会、愛知中小企業再生ファンド、DDS等の再生手法を活用してまいります。

(4) 事業継承の支援

- ・信金キャピタル株式会社等との連携を強化してM&A業務を推進してまいります。

II. 事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

(1) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進

- ・過度な担保・保証を伴わない審査態勢構築に向け、審査担当者の「目利き力」を向上させるため、内部集合研修の開催や全国信用金庫協会等の外部研修に職員を派遣します。
- ・ノンリコースローン(融資対象物件の賃貸収益や売却収入だけを返済に充当するローン)、ABL(動産担保融資)などの新たな融資手法の取組みを検討してまいります。

(2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底

- ・シンジケートローン、私募債、ABL、PFI事業への融資などに取組んでまいります。

Ⅲ. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(1) 地域の多面的情報提供

- ・「豊橋市保健所・保健センター及び地域療育センター整備・運営事業」(PFI事業)に関する情報を収集してまいります。
- ・豊橋技術科学大学等と連携して、産学官連携に関する情報収集活動を実施してまいります。
- ・東海地区信用金庫協会主催「第3回しんきんビジネスフェア」へ参加企業の募集活動を実施してまいります。
- ・中小企業新事業活動促進に基づく経営革新計画の作成支援に取り組んでまいります。
- ・社団法人東三河地域研究センターや株式会社まちなか活性化センターなど、地域のための外部機関へ引続き職員を派遣してまいります。

(2) 地域活性化につながる多様なサービス

- ・クールビズの実施など環境改善に向けた地域貢献活動に取り組んでまいります。
- ・総代の皆様や主要お取引先からの意見聴取を行うほか、利用者満足度調査を実施してまいります。
- ・「お客様相談所」の利便性向上に向けた活用方法を検討してまいります。

3. 平成19年度の地域密着型金融の取組状況

○ 主な取組策の取組状況

(平成20年2月末現在)

	取組項目	目標	実績
ライフサイクルに応じた支援強化	経営改善支援(対象)先	150先	150先
	経営改善支援先のランクアップ ^o 数	20先	43先
	中小企業大学校への職員派遣数	1名	1名
	豊橋創造大学大学院への職員派遣数	1名	1名
	新事業・事業転換に係る融資実績		26先 - 593百万円
中小企業に適した資金供給手法の徹底	新しい金融取引手法への取組み		ABLの取組(2件)
	PFI事業への融資		「豊橋市資源化センター余熱利用施設整備・運営事業」への融資取組